

日の出の国の王に奉る一文

黒田インターナショナル

黒田 毅

ウクライナへの侵攻は、過去の戦争が未だ解決を得ないことであり、第2次大戦の敗戦国としての日本は、自由主義と共に、現在を有する。

戦争放棄を有する日本は、唯一世界へ戦争の廃絶を提案できるのであり、過去の戦争は対立における世界の2分化を有するのである。

対立から融和への世界の転換は、双方が融和を選択することで解決できる。

これは戦争という過去の解決への提案なのである。

これらは世界の統一へと自己の行い、日の出の国はその責任を全うするのである。

これは融和という現実は、正義における世界の統一を相違するのである。融和は全てを抱くが、正義は、悪を排除するのである。